



オープンスペース等を活用した スポーツの場づくり

令和4年1月18日
スポーツ庁

1

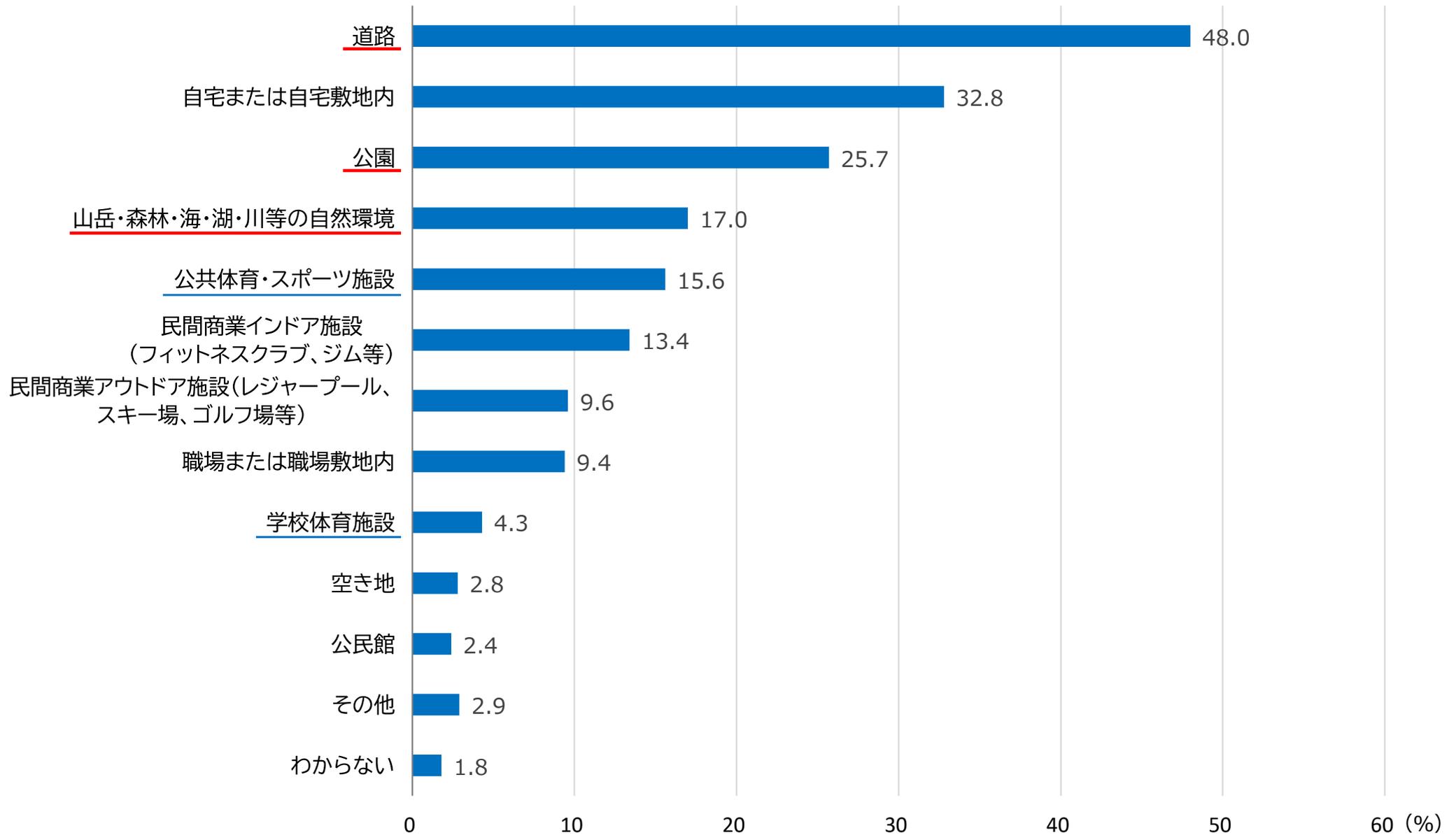
スポーツの場づくりについて

スポーツの場＝「スポーツ施設」？

いわゆる「スポーツ施設」以外でも
スポーツは広くできるという発想の転換

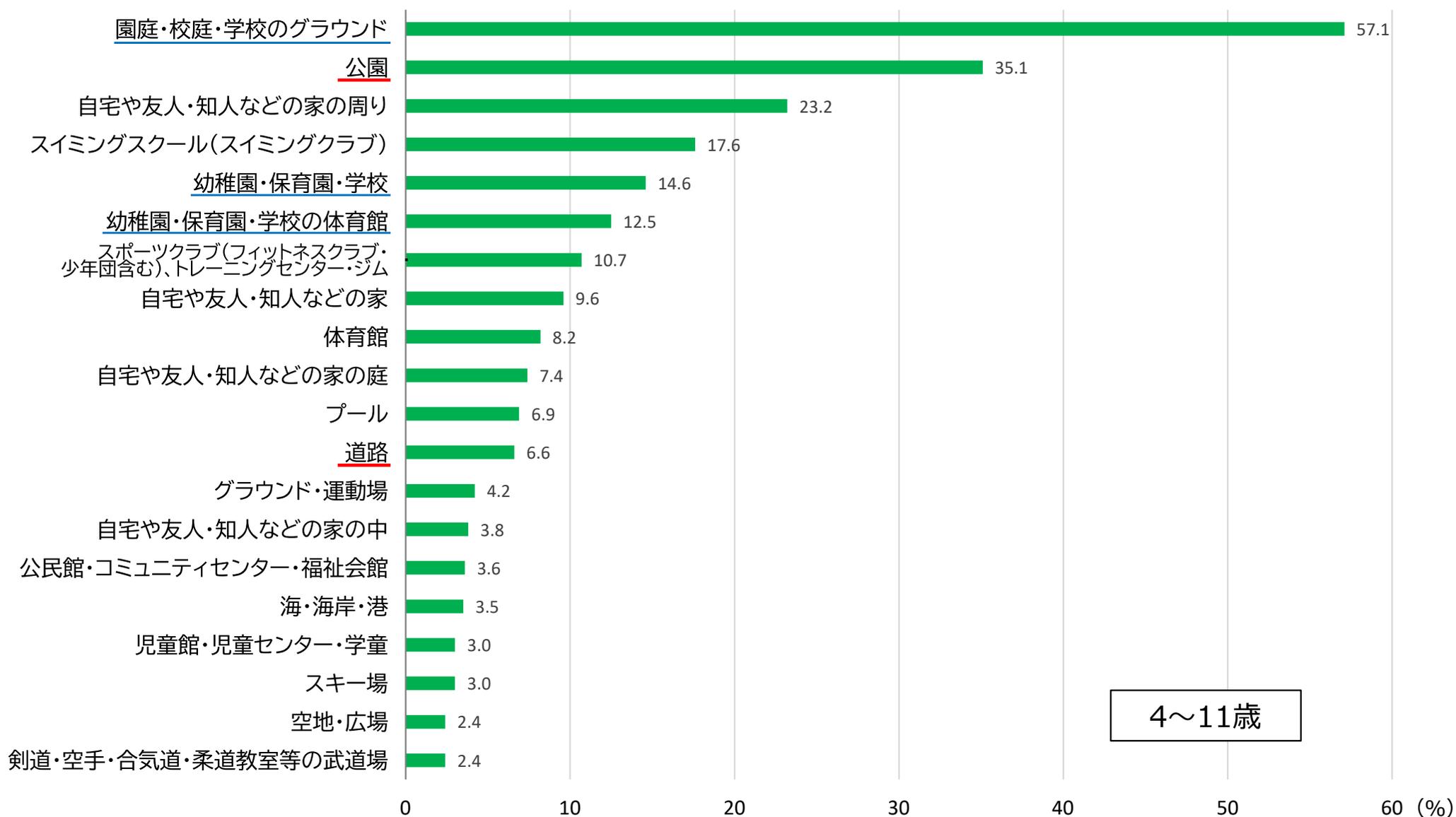
運動・スポーツの実施場所

運動・スポーツの実施場所として、「**スポーツ施設**」だけではなく、道路、公園、自然環境など**多様なオープンスペース等が活用**されている。



子供の運動・スポーツの実施場所

子供の運動・スポーツの実施場所として、**学校のグラウンド・体育館等だけでなく、公園をはじめとしたオープンスペース等が活用**されている。



注) 利用率：過去1年間に「よく行った」運動・スポーツの上位5種目のうち、異なる種目でも同じ施設を利用した場合は1回とカウントし、重複分は含まない実利用者数をサンプルサイズ (n=1,491) で除して算出

(出典) 笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフ・データ2019」

地域の公園を使いこなそう！ 子供が安心して運動できる場所づくりに向けて

(抜粋)

スポーツ庁 Web 広報マガジン

DEPORTARE

[de-por-ta-re]
スポーツの語源
気晴らし、楽しむ、遊ぶの意。

デポルタレ

近年、少子化や住環境の変化などによって子供たちが外遊びをする機会が少なくなっています。(中略)現代の子供たちが、安全かつ楽しく身体を動かす機会を確保するために、今後どのような取組が求められるのでしょうか。

公園を子供たちの遊び場とするためさまざまな工夫を凝らしている「千代田区の事例」をスポーツ庁の鈴木大地長官が視察しました。今回は、その様子を交えて、現代の公園における遊び場事情をレポートします。

千代田区は“ボール遊び”を共存

長官が視察したのは、秋葉原駅から徒歩で5分ほどのところにある「和泉公園」です。この公園は、およそ6年前から区の委託事業として毎週木曜日の15～17時、土曜日の14～16時の時間帯に限り、ボール遊びが可能に。

(中略)この日、鈴木長官は子供たちと一緒に野球を体験しました。甲子園の始球式以来となる“ピッチャーマウンド”に立った長官は、「純粹にとても楽しかったです。いつの間にかボール投げ禁止の公園が増えましたが、やり方次第で安全に遊べると感じました。まずは、我々がこうした事例を広く発信していけたらなと思います」と話しました。

秘策は専用ボール？アプリ？その他の取組

● 東京都武蔵野市

「公園・緑地リニューアル計画」に基づき、ボール遊びに特化した公園を、市内の3駅圏に一つずつ整備。



● 日本プロ野球選手会

安全なキャッチボール専用球“ゆうボール”を開発。首都圏5球団共同事業として、公園キャッチボールプロジェクト(各球団によるイベント)を実施。



● 千代田区・ボール遊び場事業視察の様子



● 埼玉県・埼玉西武ライオンズ

ボールの使用が認められている埼玉県内約200公園の情報を、公園情報アプリ(PARKFUL)で発信



地域の自然環境を活用したスポーツの場づくり

利根川源流の起伏に富んだ環境を活かしたラフティング
(群馬県みなかみ町)



森林、廃スキー場、廃道、古道などを活用したトレイルランニング
(富山県南砺市(利賀村))



糸満市固有の伝統漁船「サバニ」を活かしたマリンスポーツ
(沖縄県糸満市)



魚沼国際雪合戦大会
(新潟県魚沼市)



「スポーツ」の捉え方で広がるスポーツの場づくり

防災スポーツ

～スポーツを通じて楽しく学ぶ防災学習プログラム～

＜株式会社シンク（東京都千代田区）＞

「楽しんで、競い合っ、身体で覚える」ことをテーマに、スポーツの持つ特性（遊戯性、運動、競争性）を活用し、災害時の自助・共助、災害後の復旧・復興（ボランティア）の際に想定されるシーンをスポーツ競技として体験・学習するプログラム。スポーツ施設だけでなく、商業施設等でも展開。



子供から大人まで、身体を動かしながら防災力を高めるプログラム

BOSO（房総 × 防草）草刈 サミット

～スポーツ × 草刈で地域課題解決 プロジェクト～

＜一般社団法人ウェルネススポーツ 鴨川（千葉県鴨川市）＞

草刈を「スポーツ」と捉え、スポーツのもつ「楽しみ」や「競技性」の要素を加えた、スポーツ×草刈を考案。安全性を重視し、スピードではなく、仕上がりの美しさを競うルールを設定し、大会を開催。耕作放棄地が増加している中、地域課題の解決にもつながる。



2019年大会：耕作放棄地の棚田が選手たちにより美しく草刈りされる

スポーツ × まちづくり

地域外交流人口向け：アウター事業

地域内住民向け：インナー事業

1. スポーツを活用した
経済・社会の活性化

2. スポーツを通じた
健康増進・心身形成
・病気予防

定着・継続のための体制

- 自治体等のマインドチェンジ・キャパシティビルディング
- 組織・体制の再構築及び連携の強化

スポーツ関連ハード整備

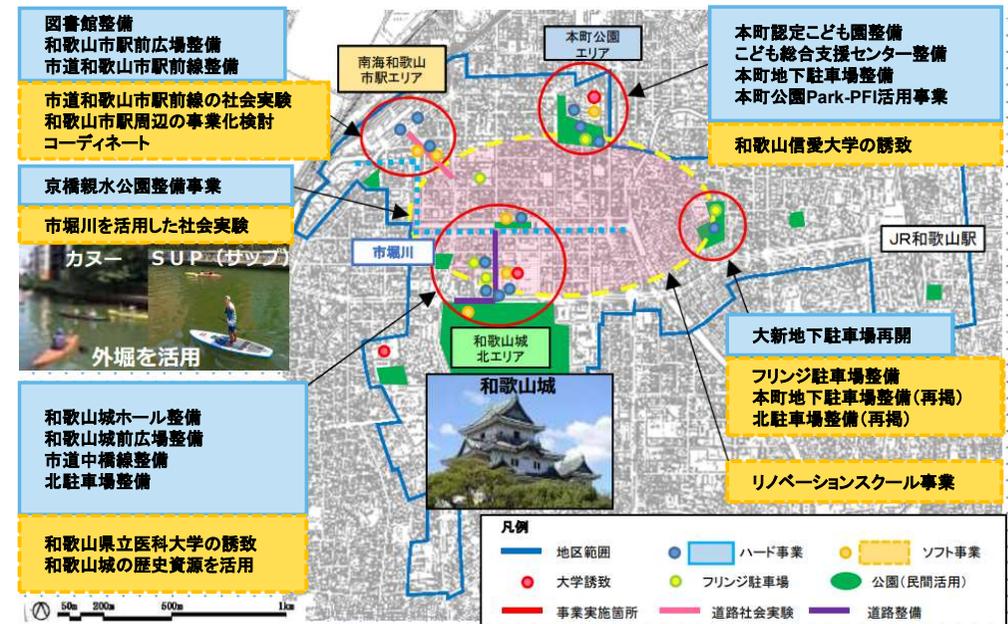
3. 自然と体を動かしてしまう
「楽しいまち」への転換

2

オープンスペース等を活用した スポーツの場づくり事例

まちなか再生によるアクティビティの場の創出

和歌山市におけるまちなか再生の推進 (1/2)



※上図は2018年時点の主な取組(民間プロジェクトを含む)を整理したものであり、現況と異なる場合がある。

概要

- 和歌山市では、コンパクトシティへの転換やウォークアブルシティの実現に向け、まちなか再生に取り組んでいる。
- 市内の都市再生推進法人等と連携し、既存建築物を活用したPark-PFI事業による公園の再生、水辺空間や道路空間を活用した実証実験等を連続的に展開している。
- 公園は近隣の子どもや高齢者のスポーツの場として活用され、水辺空間ではカヌー・SUP (サップ) 体験等の社会実験が行われるなど、スポーツやアクティビティがまちなか再生の取組に上手く溶け込み、活用されている。
- こうした取組の成果はまちなか人口の増加や来訪者数の回復といった形で見え始めており、コンパクトなまちづくり大賞における国土交通大臣賞の評価を受けるなど、今後の更なる展開に注目が集まっている。

| | |
|-------|---|
| 担当部署 | 和歌山市 都市建設局 都市計画部 都市再生課・公園緑地課・まちなみ景観課 等 |
| 連携事業者 | 市内11の都市再生推進法人 (株)宿坊クリエイティブ、(株)紀州まちづくり舎 等 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ● 既存建築物を活用したPark-PFI事業によるスポーツやイベントを通じたにぎわい創出 ● 道路空間における沿道店舗と連携した社会実験 ● 水辺空間におけるカフェ営業やカヌー・SUP (サップ) 体験等の社会実験 等 |

※出所：和歌山市ホームページ及び資料、国土交通省資料

まちなか再生によるアクティビティの場の創出

和歌山市におけるまちなか再生の推進 (2/2)

Park-PFIによる公園再生と子どもの遊び場の創出

- 本町公園では、園内の既存建築物を活用したPark-PFI事業が実施され、民間事業者のノウハウを活かした公園再生が進んでいる
- “やりたい”を“できる”にかえる「Playable Park ～できる公園～」をテーマに運営。周辺の大学や子育て施設の進出も契機に、子どもの遊び場や運動が苦手な人でも楽しめるスポーツ（フィンランド発祥のスポーツ「モルック」等）の場として活用が進むほか、マルシェ等のイベントも開催され、まちなかの賑わいに寄与している



※出所：和歌山市ホームページ及び資料、国土交通省資料、本町公園ホームページ及びFacebook

水辺空間におけるアクティビティ等の社会実験

- かつて和歌山城の外堀であった市堀川周辺の水辺空間の利活用を推進。カヌー・SUP（サップ）等のアクティビティの場としての水面の利用価値を再認識するとともに (①②)、舟運体験 (③) やイベント開催、ライトアップ等の多様な社会実験 (④) を展開し、地域の合意形成につなげている
- こうした社会実験も考慮しつつ、市堀川周辺の市営駐車場を京橋親水公園へ再整備する。まちなかでのオープンスペースや憩いの場を提供するとともに、まちなかの回遊性や利便性の向上、賑わいの創出に寄与することが期待されている



住民の手でつくり上げた身体を動かしたくなる公園

町田市鶴間公園 (1/2)



概要

- 鶴間公園は、町田市と東急を中心とした南町田拠点創出まちづくりプロジェクト（土地区画整理事業）により、大型商業施設や住宅等と一体的に整備され、2019年にリニューアルオープンした。
- 園内にはグラウンドやテニスコートといったスポーツ施設だけでなく、複数の芝生広場、ジョギングルート等が整備され、様々な形でスポーツを楽しむことができる。
- 園内の各所には、カラフルな舗装やピクトグラム等を活用した“アクティブデザイン”が施され、思わず身体を動かしたくなる仕掛けがなされている。
- まちや公園の計画段階から市民が参加するワークショップを開催。公園の使い方、運営方法、健康づくりのあり方についても話し合い、公園の計画・設計等に反映された。

| | |
|-------|---|
| 施設名 | 鶴間公園 |
| 開園年月 | 1979年7月（2019年11月リニューアルオープン） |
| 担当部署 | 町田市 都市づくり部 公園緑地課 |
| 指定管理者 | TSURUMAパークライフパートナーズ （株）石勝エクステリア、東急スポーツシステム(株)、日本体育施設(株)による共同事業体 |
| 指定期間 | 9年5か月 |
| 施設面積 | 約71,075㎡ |
| 施設構成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 芝生広場、ジョギングルート、散策路 ● スポーツエリア（グラウンド、テニスコート等） ● クラブハウス（多目的室、カフェ等）等 |

※出所：鶴間公園ホームページ及びInstagram、南町田拠点創出まちづくりプロジェクトホームページ、町田市資料、町田市・東急(株)・東急電鉄株プレスリリース

住民の手でつくり上げた身体を動かしたくなる公園

町田市鶴間公園 (2/2)

気軽にスポーツや健康づくりを行える空間の創出

身体を動かしたくなる“アクティブデザイン”の採用

- ▶ カラフルな舗装やピクトグラム等を活用した“アクティブデザイン”を各所に施し、思わず身体を動かしたくなる仕掛けづくりを行っている



多彩な活動を演出する空間の整備

- ▶ グラウンド等のスポーツ施設のみならず、芝生広場や多目的室でヨガ、ピラティス、ダンス等が行われるなど、多彩な活動が生まれている



※出所：鶴間公園ホームページ及びInstagram、南町田拠点創出まちづくりプロジェクトホームページ、町田市・東急(株)・東急電鉄株プレスリリース

市民ワークショップの開催と計画・設計への反映

- ▶ まちづくりプロジェクトの一環として、2016年から継続的にワークショップを開催
- ▶ 2016年は「鶴間公園の明日を考えるワークショップ」と題し、回ごとに「健康づくり」「コミュニティ」「木と遊び」といったテーマが設定され、フィールドワークや模型を活用しながら、公園の使い方、運営方法、健康づくりのあり方等について検討された
- ▶ ワークショップを通じて把握された子どもを含む市民の意見は、公園の計画・設計へ反映されている



公園毎の役割設定による公園づくり

足立区におけるパークイノベーションの取組 (2/2)

公園毎の役割設定による特色ある公園づくり

- 足立区は区立公園等の総面積が23区中トップクラスの一方、どの公園にも似たような遊具が設置され個性に乏しいことや、公園施設の偏在、一斉に迎える改修時期への対応といった課題を抱えていた
- そこで、2018年4月に策定した「足立区パークイノベーション推進計画」において、各公園の役割を「にぎわいの公園」と「やすらぎの公園」に大きく分類し、その役割に応じた機能を持たせるよう計画的な改修を進め、だれもが“お気に入りの公園”を見つけられるような特色ある公園づくりを推進することを打ち出した
- このうち「にぎわいの公園」では、「児童の遊び」「健康づくり」「集い・広場」など、スポーツに通じる機能の付与が想定されている



※出所：足立区ホームページ及び資料、足立区パークイノベーション推進計画

公園でボール遊びがしやすい環境の整備

- 足立区では、「公園のボール遊びルール」の策定、「ボール遊びおすすめ公園MAP」の作成、ボール遊びコーナーの適正配置等、公園でボール遊びがしやすい環境の整備を推進している
- ルールでは、公園の広場でできるボール遊びとして、やわらかいボールでのキャッチボールやリフティング、グランドゴルフやゲートボールを例示している。このほか、少年や球場やバスケットリング等の設置されている公園では、それぞれの用途に応じたボール遊びが可能
- 「○○してはいけない」といった禁止事項の羅列を極力避け、「できるボール遊び」「気をつけてほしいこと」といった表現を用いてルールの発信を行っている点が特長



- ◆ スポーツの実施状況等に関する世論調査
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/sports/1402342.htm
- ◆ スポーツ庁WEB広報マガジン“Deportare”：地域の公園を使いこなそう！子供が安心して運動できる場所づくりに向けて
<https://sports.go.jp/special/case/post-16.html>
- ◆ 地域におけるスポーツの場づくりに関するオンラインセミナー資料
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop02/list/jsa_00001.html
- ◆ 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略「スポーツ・健康まちづくり」
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1384512_00001.htm
- ◆ 室伏スポーツ庁長官表彰「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰2021」
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1384512_00003.html

スポーツが変える、未来を創る。

Enjoy Sports, Enjoy Life



スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

御清聴ありがとうございました。